

# これで防げる感染！

## 陰部洗浄・口腔ケア



訪問看護ステーション花 津村貴美子

# 感染とは？

感染とは、細菌やウイルスなどの病原体が人や動物の体内に侵入し、定着して増える現象を指し、その結果として症状が出た状態を感染症と言う

※主な感染症

- ・新型コロナウイルス感染症
- ・疥癬
- ・インフルエンザ感染症
- ・尿路感染症
- ・肺炎            等



# 在宅でよく見る感染症

## (1)肺炎

肺炎とは

気道を通して侵入した細菌やウイルスが肺内で増殖し炎症が引き起こされた状態

症状：発熱 咳 痰 重症時は  
胸の痛みや息苦しさがある

### 呼吸器症状

- ・咳
- ・喀痰
- ・息切れ
- ・胸痛



# 肺炎の原因

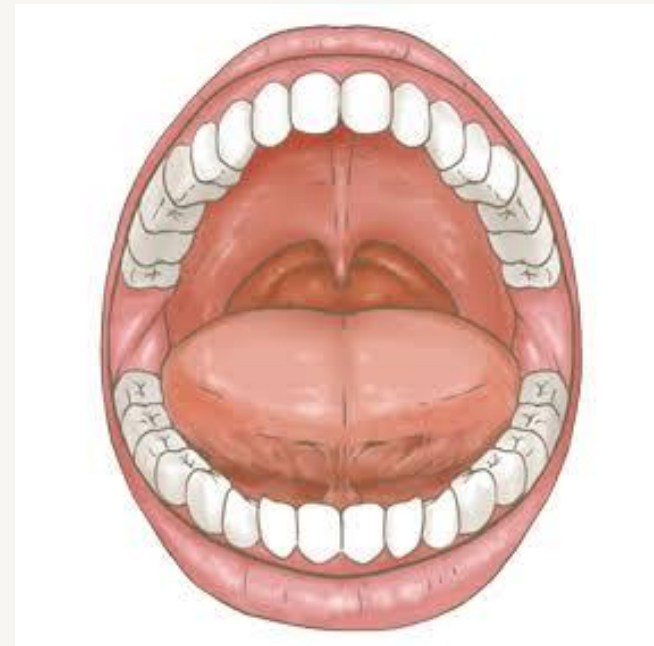
- 肺炎球菌が肺内に侵入し発症
- 高齢者の肺炎は口の中の細菌などが誤って肺に入って発症する

「誤嚥性肺炎」の割合が高いと言われている  
ケアの仕方で悪化する場合もあるので  
正しい方法で行う



# 口腔ケアのポイント

- 短時間で終わらせる
- 姿勢に気を付ける
- 口腔内の様子を観察する



# 口腔ケアの方法

(必要物品)

- ・やわらかめの歯ブラシ 歯磨き粉 デンタルフロス スポンジブラシ
- ・コップ うがい受け(ガーグルベースン) 口腔用ウェットティッシュ

## ①体位を整える

頭は横に向ける

背もたれを舌と床が並行になる角度にする

起こすことで体に負担のある場合は10～15度位上げる

## ②口腔内をうがいや口腔用ウェットティッシュで湿らせる

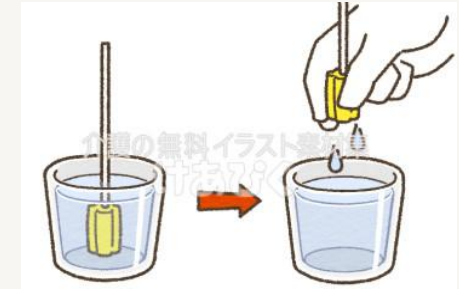
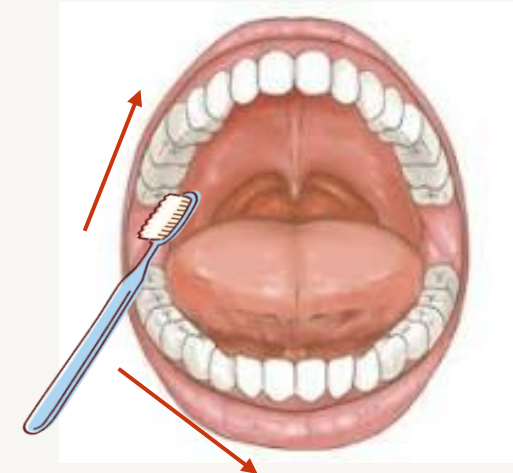
口の中に異常がないか確認する



# 口腔ケアの方法

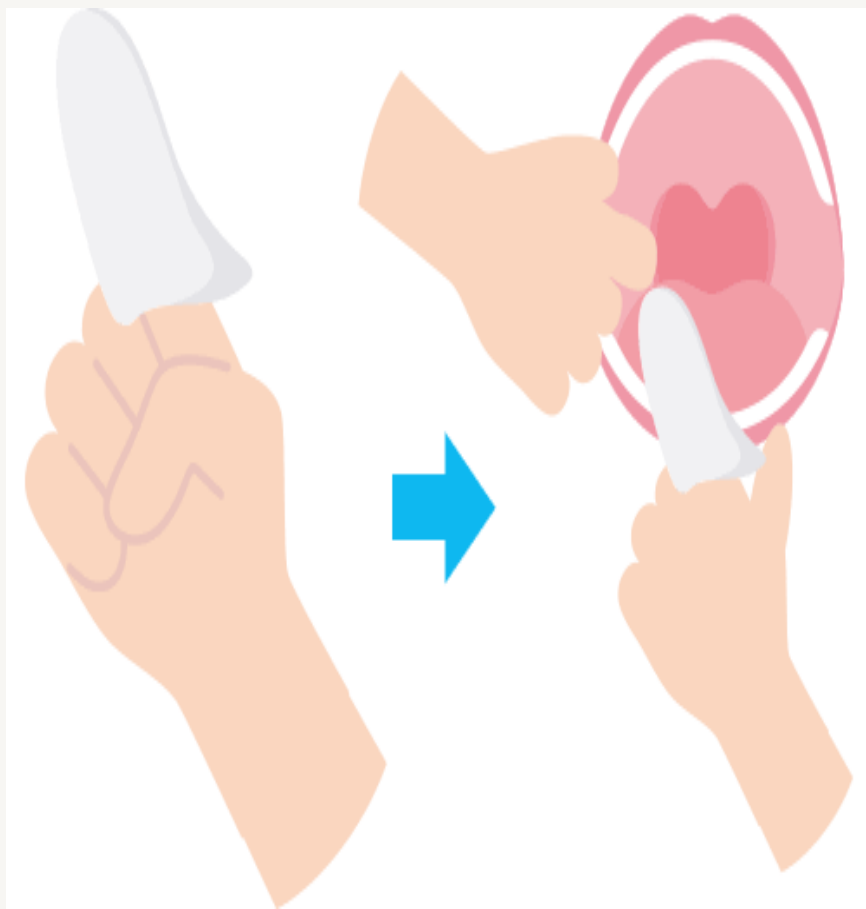
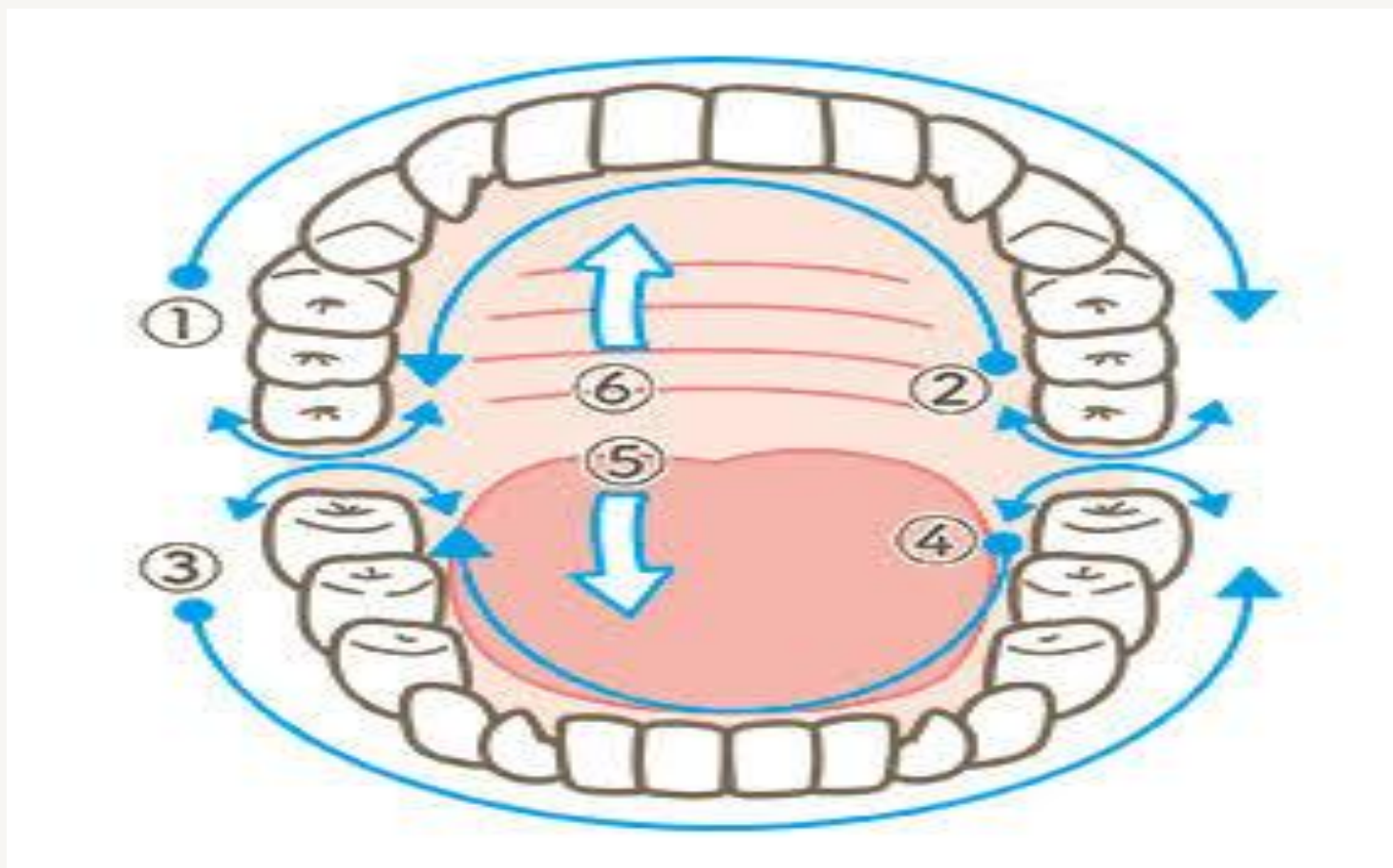
## ③本人と正面から向き合いブラッシングする

- ・ スポンジを使用する時は水を含ませて絞り、口腔内を拭く
- ・ ガーゼを使用する時は人差し指に巻いて使う
- ・ 奥から手前に向かって口腔内を拭く



## ④口腔内の清掃が終わった後、うがいができる場合はうがい、出来なければ口腔ケア用ウェットティッシュで拭く

# 口腔ケアウエットティッシュを使う場合



# 在宅でよく見る感染症

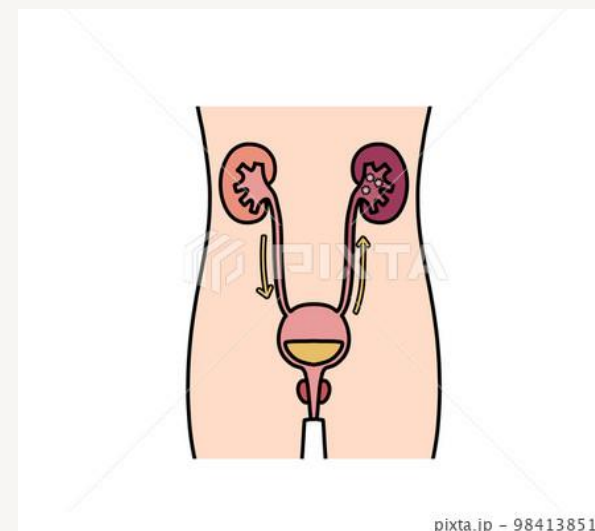
## (2)尿路感染

腎臓 尿管 膀胱 尿道など尿の通り道に  
細菌などが入り込み炎症を起こした状態

症状：排尿痛（しみる チクチクする感じ）

頻尿 残尿感 濁った尿

血尿 高熱 腰や脇腹の痛み

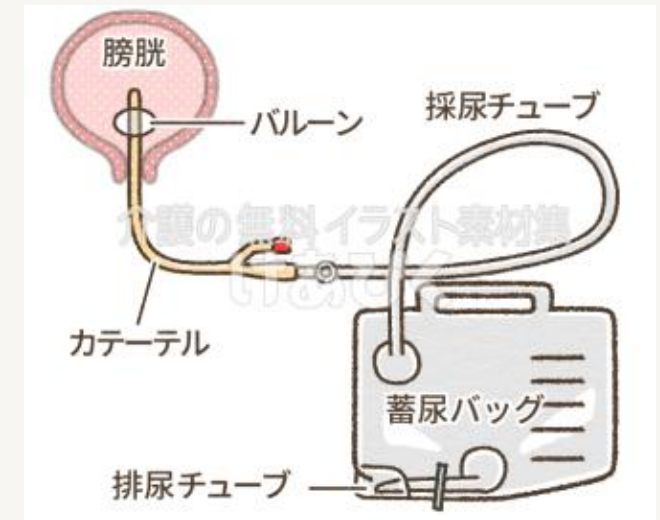


# 尿路感染の原因

- 腸内細菌（特に大腸菌）が尿道口から逆行して侵入する
- 排尿を我慢する
- 残尿がある排尿障害
- 尿管結石や前立腺肥大など尿の流れが悪い
- 尿道カテーテル留置



- 十分な水分をとり排尿を我慢しない事
- 陰部を清潔に保つように心掛ける



# 陰部洗淨のポイント

- 陰部をこすらない
- お湯をゆっくりかける
- 声掛けを行う
- 陰部周辺の皮膚を観察する
- 羞恥心に配慮



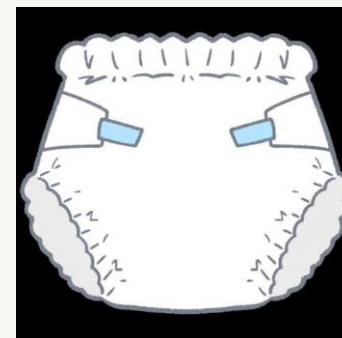
# 陰部洗浄の方法

- (必要物品)
- ディスポーザブル手袋 マスク ビニールエプロン 石鹸などの洗浄剤 陰部洗浄用ボトル タオル 新しいおむつや下着
- お湯(38～39℃)

## ①体勢を整える

仰臥位でおムツを開く

汚染したパットを取り除き排泄物があればふき取る



# 陰部洗浄の方法

②陰部をお湯で濡らし泡立てた石鹸で洗浄する

大腸菌の感染を防ぐため尿道口から肛門の一方向で洗浄する

しわや皮膚が重なっているところもしっかり洗浄する

③石鹸成分が残らないよう十分なお湯で洗い流す

タオルでやさしく押し拭きする

④側臥位で臀部 肛門周囲を同様に石鹸で洗浄しお湯で流す



# 今回のおさらい



- **肺炎の予防**

- 誤嚥しないように姿勢に気を付ける
- 口腔内に残渣が残らないように気を付ける
- 口腔内の乾燥を予防する
- ブラッシングは奥から手前に行く

# 今回のおさらい



- 尿路感染の予防
- 皮膚の重なっている部分も洗淨する
- 尿道カテーテルも洗淨する
- 前から後ろに洗淨する
- ウロバックは身体より上に上げない

# 感染を未然に防ぐために出来ること

- ①日々のケアを正しい手順で行う
- ②丁寧にケアを行う
- ③観察する



感染予防 感染の早期発見



# ご清聴ありがとうございました

細かい事でも困ったことがあればいつでも訪問看護へお気軽に相談下さい  
高齢者の在宅生活を一緒に守っていきましょう

